



大和陸橋～大新横丁。環七通り誕生で変わった「野方1丁目 歴史散歩」

2021.12.21 UP 西武新宿線沿線西エリア JR中央線沿線東エリア 投稿者：区民レポーターソルト

[グルメ] [カフェ、スイーツ、パン] [観光スポット] [まち歩き、公園] [区民レポーター]

こんにちは、区民レポーターのソルトです。

今年(2021年)は、東京でオリンピック・パラリンピックが開催されました。前回(1964年)の東京オリンピックは、ソルトの親/祖父母世代の方々に強い印象を残しました。その前後に生まれた人については「オリンピックの年(前年/翌年)生まれ」などと、年齢を語る基準にすることもあったほどです。今回のオリンピックもまた、多くの人にさまざまな思い出となっていくことでしょう。

さて、すっかり都民の生活の一部になっている環七通りですが、その工事は前回の東京オリンピック開催に合わせて進められました。それ以前と以後の中野区には、大きな変化があったようです。「以前はいったいどんな風景だったのだろう、当時の住民がスマホで撮影できていたらよかったのに」と、つつい考えずにいられません。

そんなことに思いを馳せながら、お散歩スタートです。

大和陸橋

まずはこちらが、大和陸橋です。大和町から東方向(野方1丁目)を見つつ撮影しました。



大和陸橋(大和町側から撮影)

このあたりは交通量が多いので、横断歩道では信号に十分注意してください。まずは早稲田通りを写真右手側に移動し、環七通りを横切って、もみの木公園を目指します。

もみの木公園

環七通りを越え、写真中央右手側に見える建物のブロックをひとつ越えたら、カフェの手前を右折。そこがもみの木公園です。開園は、1975年。



もみの木公園

公園があることを知らないと見落としてしまいそうな、小規模な空間でした。遊具が少しと、藤棚にも利用できそうな日除けがあります。その下は網がかかっていますが、かつては砂場だったのかもかもしれません。この脇にベンチがあり、休憩している人の姿が見えました。

もみの木公園

所在地 中野区野方1-38

アクセス 関東バス「大新横丁」から徒歩3分

ではふたたび早稲田通りを東へ移動します。150メートルくらいで、早稲田通り公園に到着。

早稲田通り公園

こちらは広い空間で、先ほどのもみの木公園の約4倍あります。開園は1983年。この日は付近にある保育園の園児たちが、先生の引率のもとで遊んでいました。

座りやすそうなベンチもあるので、飲み物を買ってきて休憩するのもにも便利そう。



早稲田通り公園

大通りからよく見えるので、気軽に立ち寄れてよいですね。

早稲田通り公園

所在地 中野区野方1-35

アクセス 関東バス「大新横丁」から徒歩1分

住宅街のパン屋さん「CROIX(クロワ)」

早稲田通り公園から道を横断すると、住宅街にパン屋さんがあります。この界隈はパン屋さんが少なくなっていました。2014年にCROIXが開店して、パン好きとしては大興奮。



住宅街のパン屋さん「CROIX(クロワ)」

早稲田通り公園の前の横断歩道を渡ると酒屋さんが見えるので、その酒屋さんの前を1ブロックほど東(右手側)に移動してください。路地にお店があります。

「CROIX(クロワ)」店内の様子です。

※画像はクリックすると少し大きくなります。

窓に沿って食パン、ベーグルなど人気商品が並びます。入り口近くにはコーヒー300円(税込)の案内、そしてレジの脇には焼き菓子も。



パン屋さん「CROIX(クロワ)」店内

どれも美味しそうで、食いしん坊のわたしは4個も買ってしまいました。



CROIX(クロワ)にて購入したパン

左上、バゲット(ハーフサイズ) 150円/税込

右側中段、カヌレ 200円/税込

右側下、バナナマフィン 150円/税込

左下、ベーグル(レモンとクリームチーズ) 200円/税込

商品は通常品だけでなく曜日限定のもの、季節のものがあり、予約が前提のセット販売商品などもあるので、詳しくは公式サイトでご確認を。前日の夕方16時までに電話やメールで予約ができます。今回のパンはどれも美味しかったのですが、バゲットの絶妙な弾力に感動しました。

CROIX(クロワ)

所在地 中野区野方1-44-6

電話番号 03-6310-9996

営業時間 10:00 ~ 18:00

定休日 日曜日、月曜日

アクセス 関東バス「大新横丁」バス停から徒歩2分

★このお店の別の記事は[コチラ](#)

★公式サイトは[コチラ](#)

大新横丁、そして創業から50余年の和菓子店「梅むら」

「CROIX」から、西に1本ずれた通り(酒屋さんと蕎麦屋さんに挟まれている)は、「大新横丁」という名前で知られていて、すぐ近くの関東バス停留所の名前にもなっています。この通りに、和菓子「梅むら」があります。



和菓子「梅むら」

以前読んだ資料によると(参照: 大和町の歴史を地元の人々がつづった「大和町うるわし」)、環七通り開通以前は、現在の早稲田通りから西武新宿線「野方駅」方面に移動するのに、こちらの大新横丁が重要な役割を果たしていたそうです。

現在は環七通りで途切れている(もしくは一部が重なっている)ものの、かつて大新横丁から野方駅前バスロータリーまで道が延びていました。いまは細く見えるこの通りに、野方駅からのバスが通っていたそうです。

★「大和町うるわし」が閲覧できる、大和区民活動センター運営委員会のホームページは[コチラ](#)

梅むらさんの店内をご紹介します。

※画像をクリックすると少し大きく表示されます。



和菓子「梅むら」店内

お店を構えて長いのではと伺うと、創業からすでに50年は経過しているとのことでした。「人通りが減ってきて寂しい」と話していましたが、たしかに昔と比べるとまちの雰囲気が変わってきているのを感じます。20年くらい前まではこの大新横丁の入り口(早稲田通り側)にスーパーがあり、その近くには幅広い年代に人気のパン屋さんがありました。

とはいえ、まちに変化はつきもの。これからも歴史ある大新横丁を見守っていきたいです。

ただちゃ豆と粒あんのおはぎを各1個、お土産に購入しました。いずれも145円(税込)です。



和菓子「梅むら」、おはぎ2種

これまで生菓子、餅菓子、赤飯、カステラなどを購入したことがありますが、どれも美味。自家製造なので鮮度が違います。

梅むら

所在地 中野区野方1-42-18

電話番号 03-3385-1174

営業時間 9:30 - 19:00

定休日 火曜日(不定休や、変更あり)

アクセス 関東バス「大新横丁」のバス停から徒歩1分

以上、1時間以内で楽しめる「野方1丁目 歴史散歩」でした。



※問い合わせ先の記載がない記事については、まるっと中野編集部までお問い合わせ下さい。

掲載場所近隣の区民の皆様にご直接お問い合わせすることはご遠慮いただきますよう、お願い申し上げます。

※掲載情報は全て記事取材当時のものです。